



証券コード:7840

**フランスベッドホールディングス株式会社
平成26年3月期決算説明会**

平成26年5月30日

<http://www.francebed-hd.co.jp/>



FRANCEBED HOLDINGS

**I・平成26年3月期
連結決算とセグメント別の概況**

II・平成27年3月期 通期の連結業績見通し

メディカルサービス事業の業績見通し

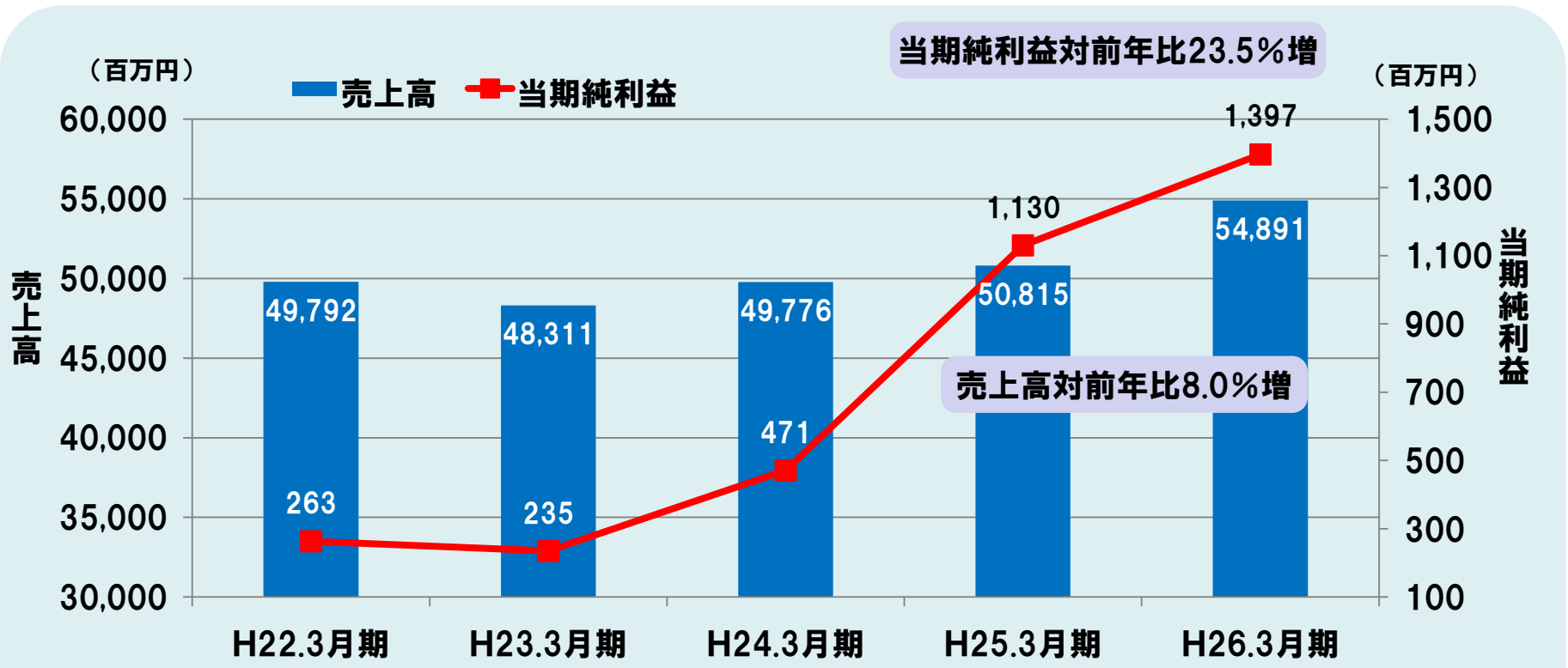
インテリア健康事業の業績見通し

III・今後の主な取組みについて



I・平成26年3月期 連結決算とセグメント別の概況

平成26年3月期 連結決算のポイント



平成26年3月期 連結決算
3期連続増収増益

平成26年3月期 連結決算の概況

- 連結売上高 前年同期比 +8.0% **40億75百万円の増収**
- 連結経常利益 前年同期比 +37.9% **7億66百万円の増益**

(百万円)

	平成25年3月期 (H24.4~H25.3)		平成26年3月期 (H25.4~H26.3)				前年 同期比 増減率	当初 計画 達成率
	実績	構成比	当初 計画	構成比	実績	構成比		
売上高	50,815	100.0%	53,600	100.0%	54,891	100.0%	8.0%	102.4%
売上原価	27,854	54.8%	—	—	30,151	54.9%	0.1P	—
売上総利益	22,960	45.1%	—	—	24,739	45.0%	7.7%	—
販管費	20,917	41.1%	—	—	21,939	39.9%	4.8%	—
営業利益	2,043	4.0%	2,800	5.2%	2,799	5.1%	37.0%	99.9%
営業外収益	168	0.3%	—	—	167	0.3%	△0.3%	—
営業外費用	192	0.3%	—	—	182	0.3%	△5.1%	—
経常利益	2,018	3.9%	2,750	5.1%	2,784	5.0%	37.9%	101.2%
特別利益	526	1.0%	—	—	0	0.0%	△99.9%	—
特別損失	649	1.2%	—	—	206	0.3%	△68.1%	—
税引前利益	1,894	3.7%	—	—	2,578	4.6%	36.0%	—
税金費用等	764	1.5%	—	—	1,180	2.1%	54.4%	—
当期純利益	1,130	2.2%	1,460	2.7%	1,397	2.5%	23.5%	95.6%

■ 1株当たり当期純利益 6.44円

平成26年3月期 セグメント別の決算概況

■ メディカルサービス事業、インテリア健康事業ともに増収増益

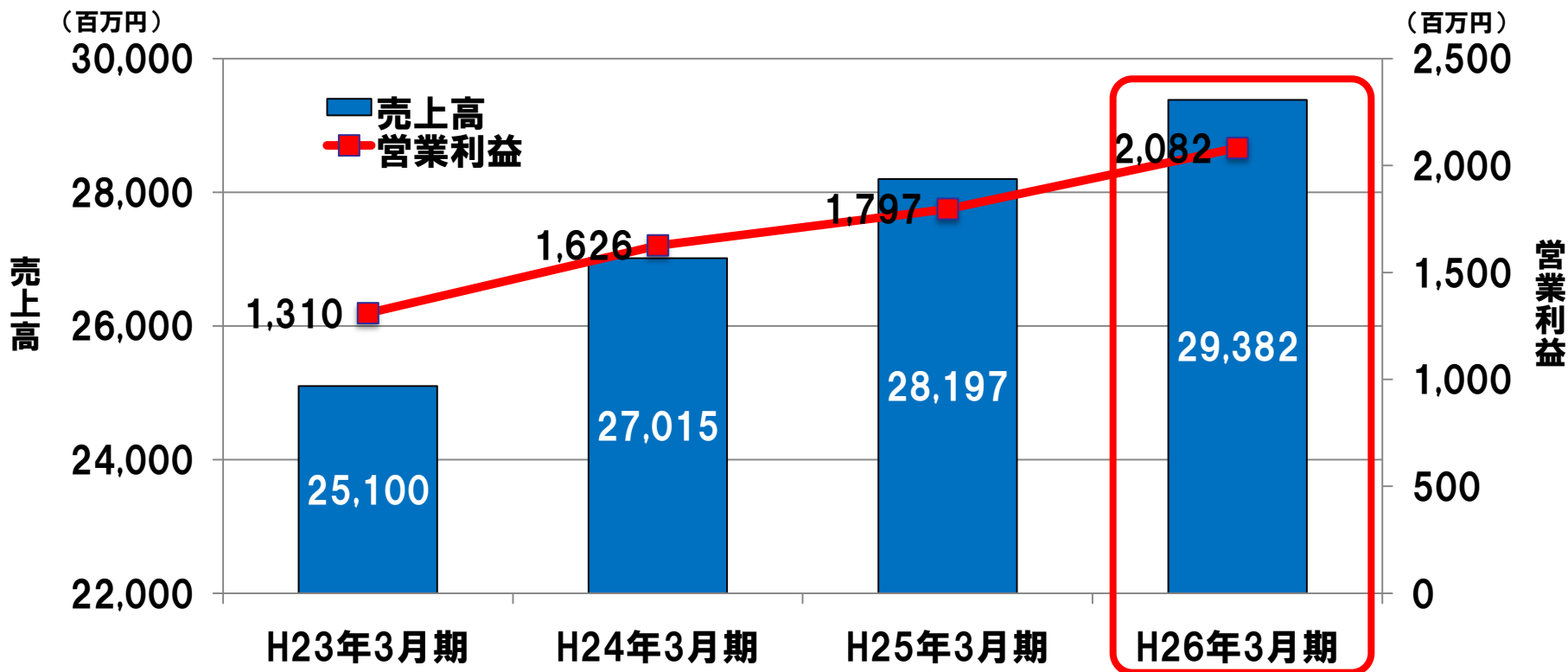
(百万円)

		平成25年3月期		平成26年3月期				前年 同期比 増減率	当初 計画 達成率
		実績	構成比	当初 計画	構成比	実績	構成比		
メディカル サービス事業	売上高	28,197	55.4%	29,400	54.8%	29,382	53.5%	4.2%	99.9%
	営業利益	1,797	87.9%	2,250	80.3%	2,082	74.3%	15.8%	92.5%
インテリア 健康事業	売上高	18,848	37.0%	20,400	38.0%	21,672	39.4%	14.9%	106.2%
	営業利益	186	9.1%	480	17.1%	726	25.9%	289.3%	151.2%
その他	売上高	3,770	7.4%	3,800	7.0%	3,835	6.9%	1.7%	100.9%
	営業利益	27	1.3%	50	1.7%	△32	△1.1%	—	—
調整額	売上高	—	—	—	—	—	—	—	—
	営業利益	31	1.5%	20	0.7%	23	0.8%	△26.9%	115.0%
合 計	売上高	50,815	100.0%	53,600	100.0%	54,891	100.0%	8.0%	102.4%
	営業利益	2,043	100.0%	2,800	100.0%	2,799	100.0%	37.0%	99.9%

メディカルサービス事業 平成26年3月期実績について

売上高 対前年比 4.2%増収 293億82百万円

営業利益 対前年比 15.8%増益 20億82百万円



営業利益率が平成23年3月期の5.2%から平成26年3月期は7.0%へ上昇

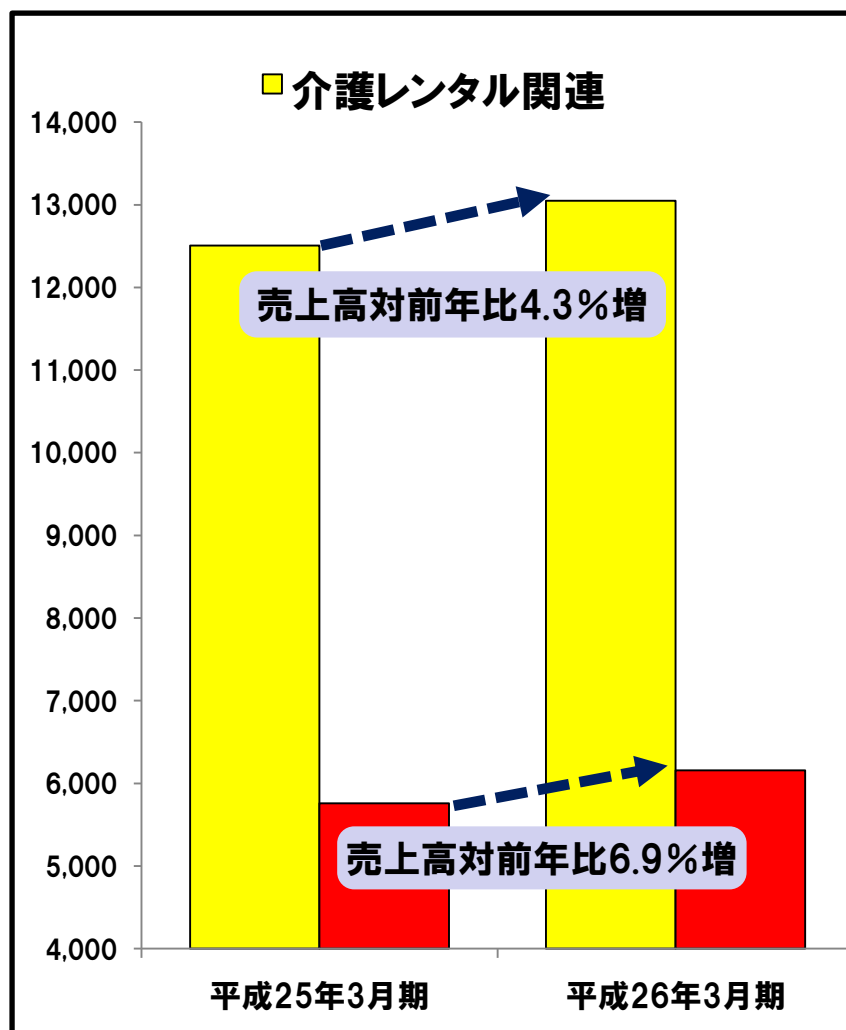
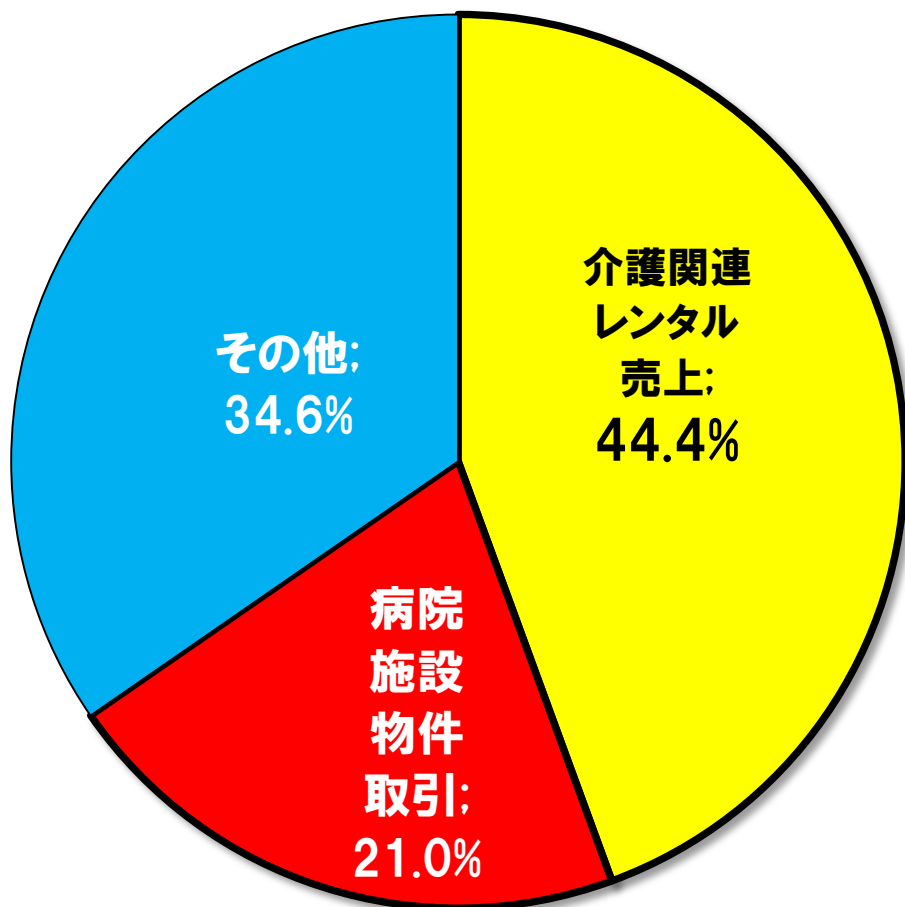
- ① 過年度に投下したJISベッドの償却負担が軽減し、レンタル事業の利益率が上昇
- ② 部材等の海外調達比率を高めたことで原価率が低下

メディカルサービス事業の「介護関連レンタル売上」と
「病院・施設向け物件取引」の対前年比較

メディカルサービス事業 売上高:293億82百万円

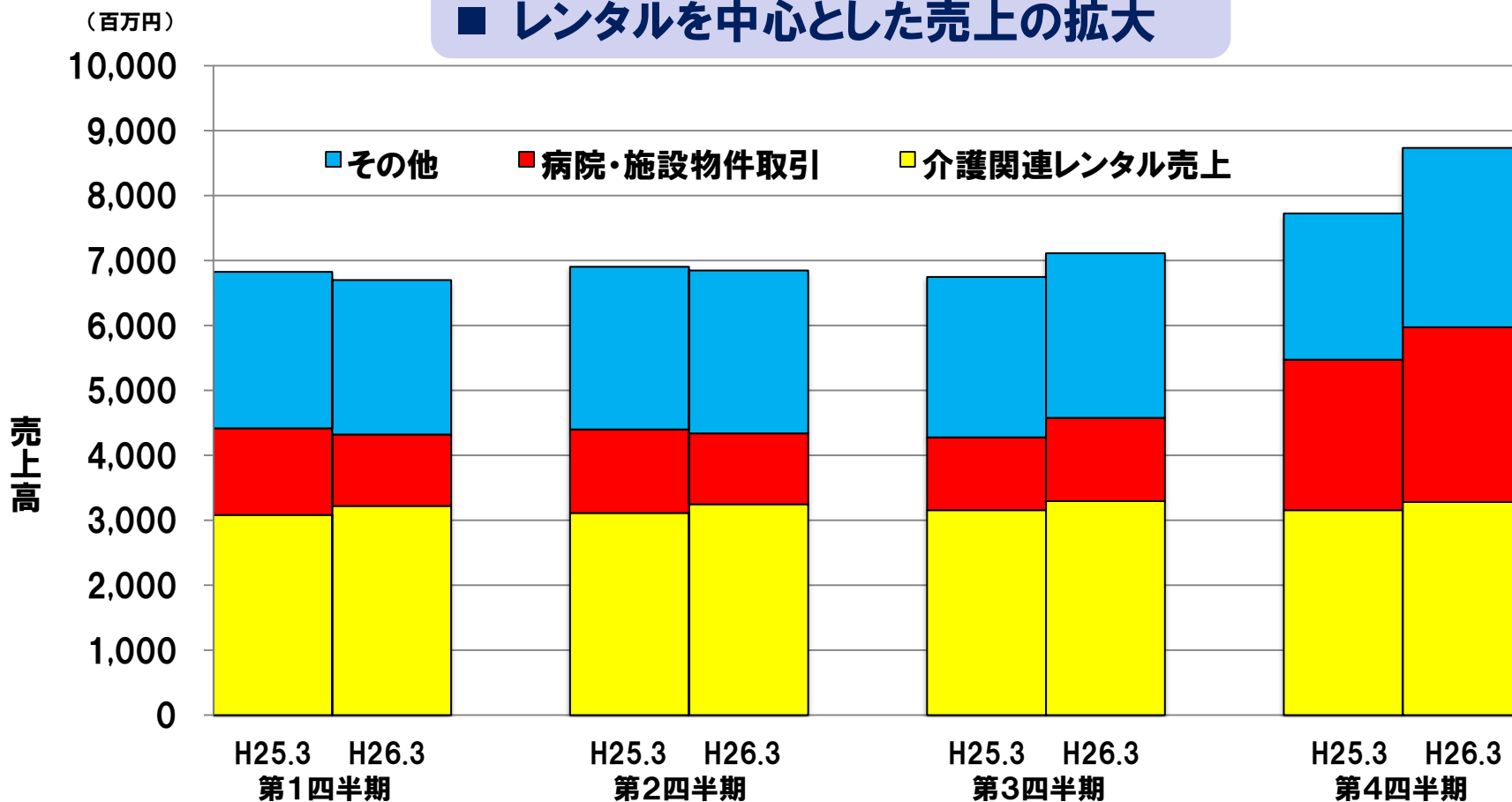
平成26年3月期

メディカルサービス事業 売上高構成比



メディカルサービス事業 四半期毎の業績推移

■ レンタルを中心とした売上の拡大



【四半期毎売上高推移】

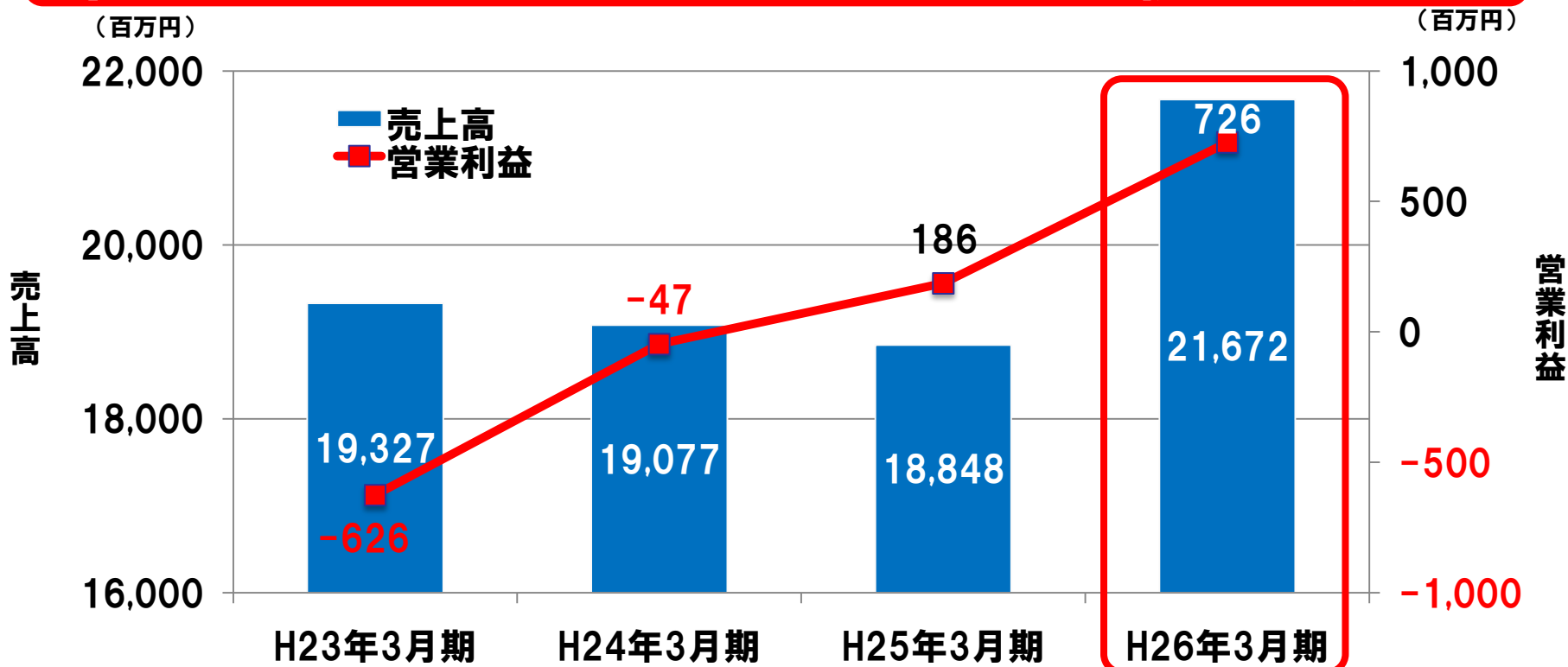
(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
平成25年3月期	6,823	6,904	6,746	7,724
平成26年3月期	6,696	6,844	7,112	8,730
前年同期比	98.1%	99.1%	105.4%	113.0%

インテリア健康事業 平成26年3月期実績について

売上高 対前年比 14.9%増収 216億72百万円

営業利益 対前年比 289.3%増益 7億26百万円

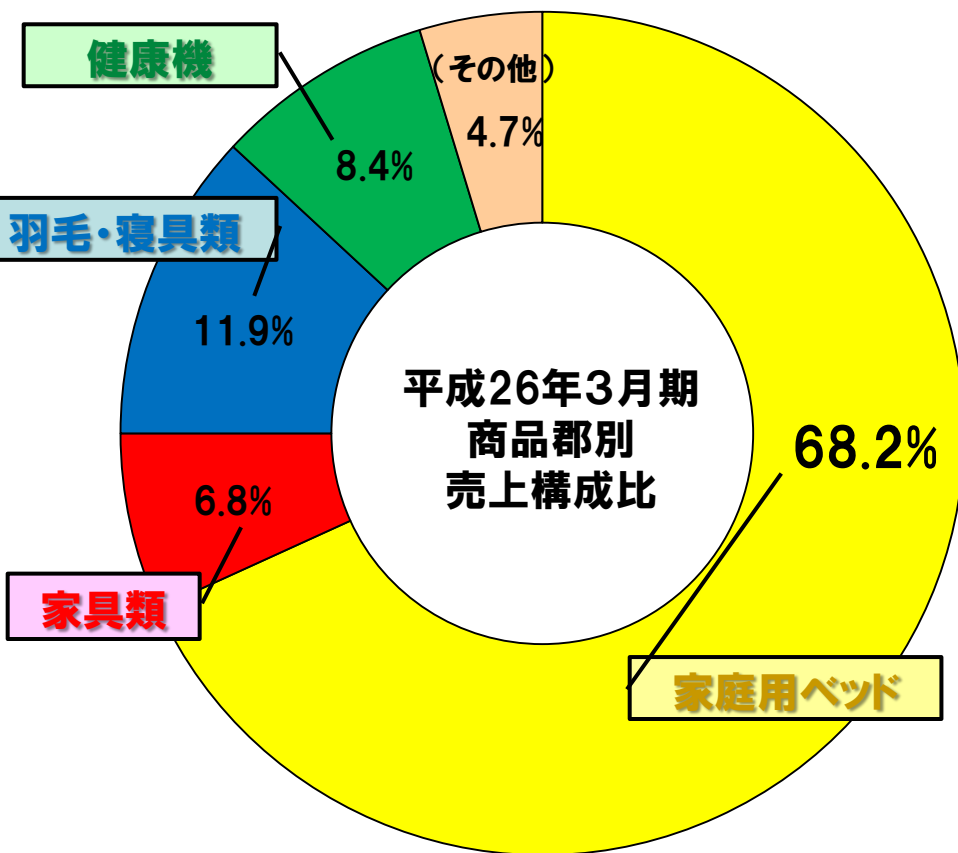


売上高は東京ベッドの工場火災の影響を除くと平成24年3月期を底として回復基調

- ① 家具小売店が円安の進行等により調達先を中国などの海外から国内メーカーにシフト
- ② アベノミクス等により個人消費が回復

フランスベッド(株)単体のインテリア健康事業について

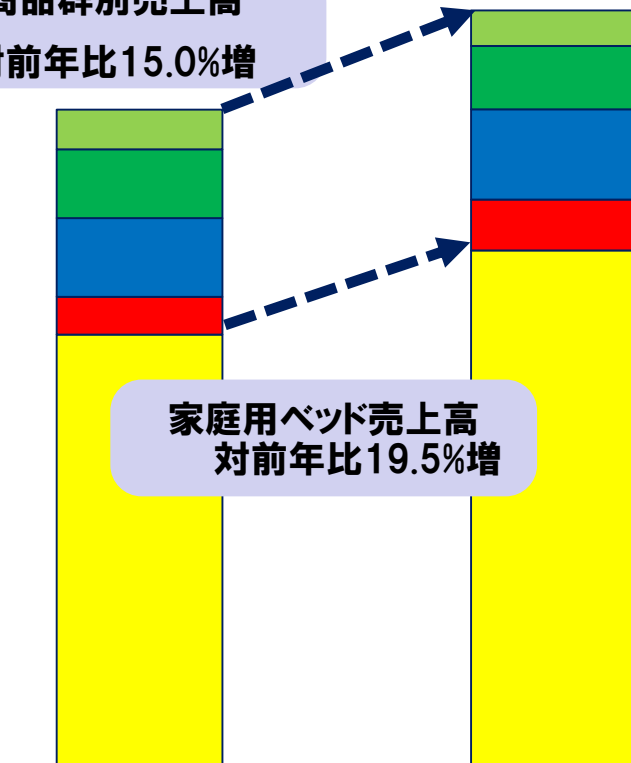
フランスベッド(株)単体インテリア健康事業 商品群別売上構成



商品群別売上高



商品群別売上高
対前年比15.0%増

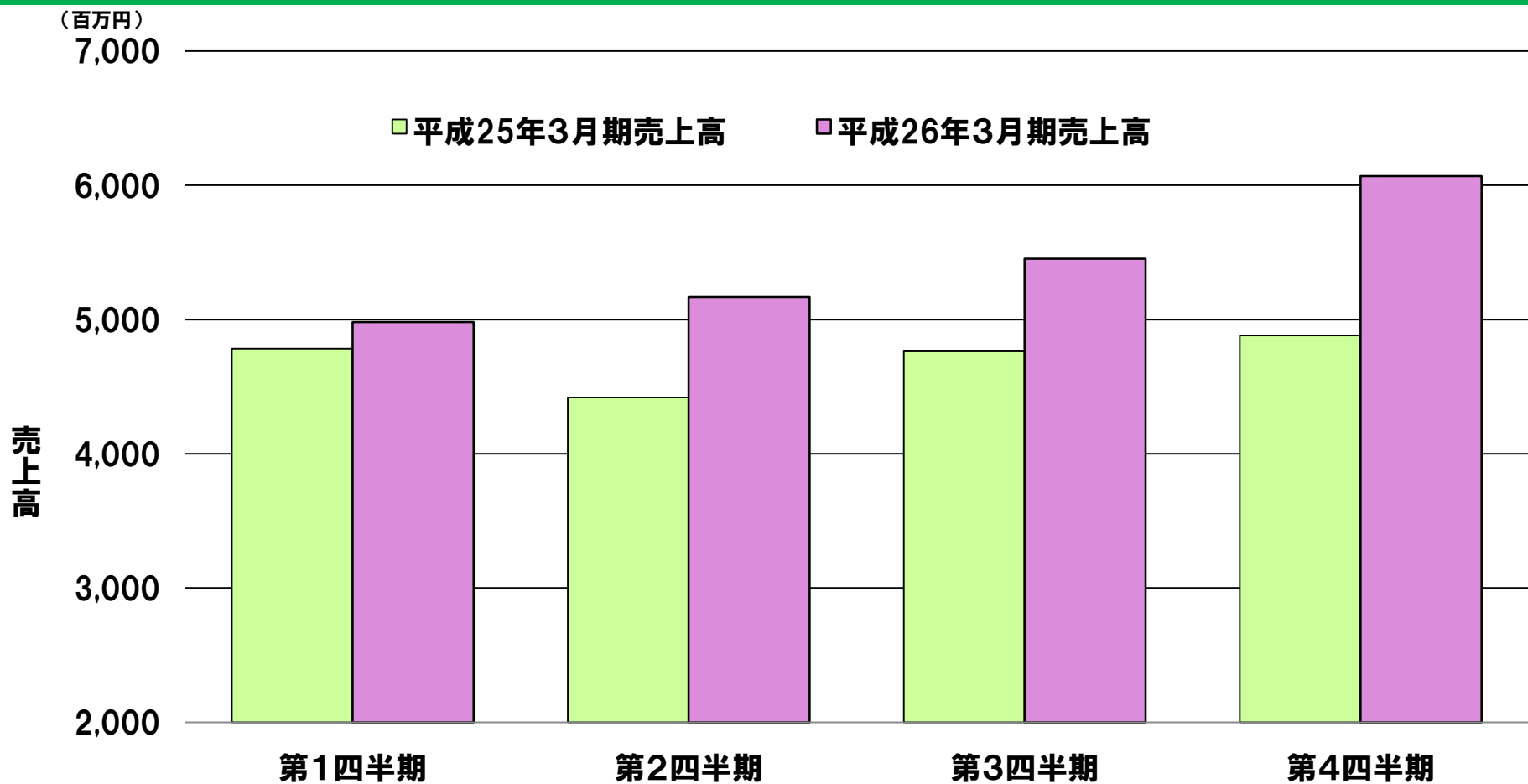


平成25年3月期

平成26年3月期

家庭用ベッド、家具類の増収が寄与し、売上高対前年比15.0%増収

インテリア健康事業 四半期毎の業績推移



【四半期毎売上高推移】

(単位：百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
平成25年3月期	4,783	4,419	4,764	4,882
平成26年3月期	4,982	5,169	5,453	6,068
前年同期比	104.2%	117.0%	114.5%	124.3%

連結貸借対照表

(百万円)

		平成25年 3月末	構成比	平成26年 3月末	構成比	増減額
資産の部	流動資産	34,260	56.2%	32,988	55.5%	△1,271
	現金及び預金	7,084	11.6%	8,125	13.7%	1,040
	受取手形及び売掛金	11,083	18.2%	12,350	20.8%	1,267
	有価証券	5,998	9.8%	2,498	4.2%	△3,499
	たな卸資産	7,725	12.7%	7,661	12.9%	△64
	その他	2,368	3.9%	2,352	4.0%	△16
	固定資産	26,747	43.8%	26,387	44.4%	△360
	有形固定資産	15,705	25.7%	16,244	27.3%	539
	無形固定資産	990	1.6%	1,055	1.8%	65
	投資その他の資産	10,052	16.5%	9,087	15.3%	△964
資産合計	61,021	100.0%	59,443	100.0%	△1,578	
負債の部	流動負債	17,568	28.8%	16,539	27.8%	△1,029
	支払手形及び買掛金	3,806	6.2%	4,237	7.1%	430
	短期借入金 ※1	4,800	7.9%	3,550	6.0%	△1,250
	未払法人税等	925	1.5%	208	0.4%	△716
	固定負債	7,244	11.9%	7,381	12.4%	137
	長期借入金 ※2	2,400	3.9%	3,550	6.0%	1,150
	その他	2,508	4.1%	1,668	2.8%	△840
負債合計	24,813	40.7%	23,921	40.2%	△892	
純資産の部	株主資本	36,089	59.1%	35,638	60.0%	△451
	その他の包括利益累計額	118	0.2%	△115	△0.2%	△234
	純資産合計	36,208	59.3%	35,522	59.7%	△685
	負債及び純資産合計	61,021	100.0%	59,443	100.0%	△1,578

連結キャッシュ・フロー(CF)の状況

(百万円)

	営業活動 によるCF	投資活動 によるCF	財務活動 によるCF	現金及び 現金同等物 増減額	現金及び 現金同等物 期末残高
平成25年 3月期	5,042	△2,022	△1,407	1,626	11,584
平成26年 3月期	3,241	△2,550	△2,165	△1,559	10,024

①連結CFの状況

現金及び現金同等物残高が前期末と比較して15億59百万円減少。

②営業活動によるCFの状況（32億41百万円の収入）

収入については、税金等調整前当期純利益25億78百万円、仕入債務(ファクタリング未払金含む)の増加4億40百万円などによるものであり、支出については売上債権の増加12億4百万円、確定拠出年金制度への移換金8億79百万円、法人税等の支払額13億23百万円などによるもの。

③投資活動によるCFの状況（25億50百万円の支出）

定期預金の満期払戻5億円、有価証券の償還19億99百万円などの収入に対し、有価証券の取得9億99百万円、有形固定資産の取得37億56百万円、無形固定資産の取得3億17百万円などの支出によるもの。

④財務活動によるCFの状況（21億65百万円の支出）

自己株式の取得8億53百万円、配当金の支払額9億81百万円などの支出によるもの。

設備投資について

(百万円)

		平成25年3月期 通期実績	平成26年3月期 通期実績	平成27年3月期 通期計画
設 備 投 資 額	レンタル資産	2,477	2,461	2,650
	工場生産・物流設備	299	861	380
	リネン工場設備	186	8	36
	ソフトウェアの取得	223	453	160
	土地の取得	—	384	—
	その他	75	139	34
	合計	3,260	4,307	3,261
減価償却費		3,684	3,609	3,728

主な設備投資実績および計画

平成26年3月期実績

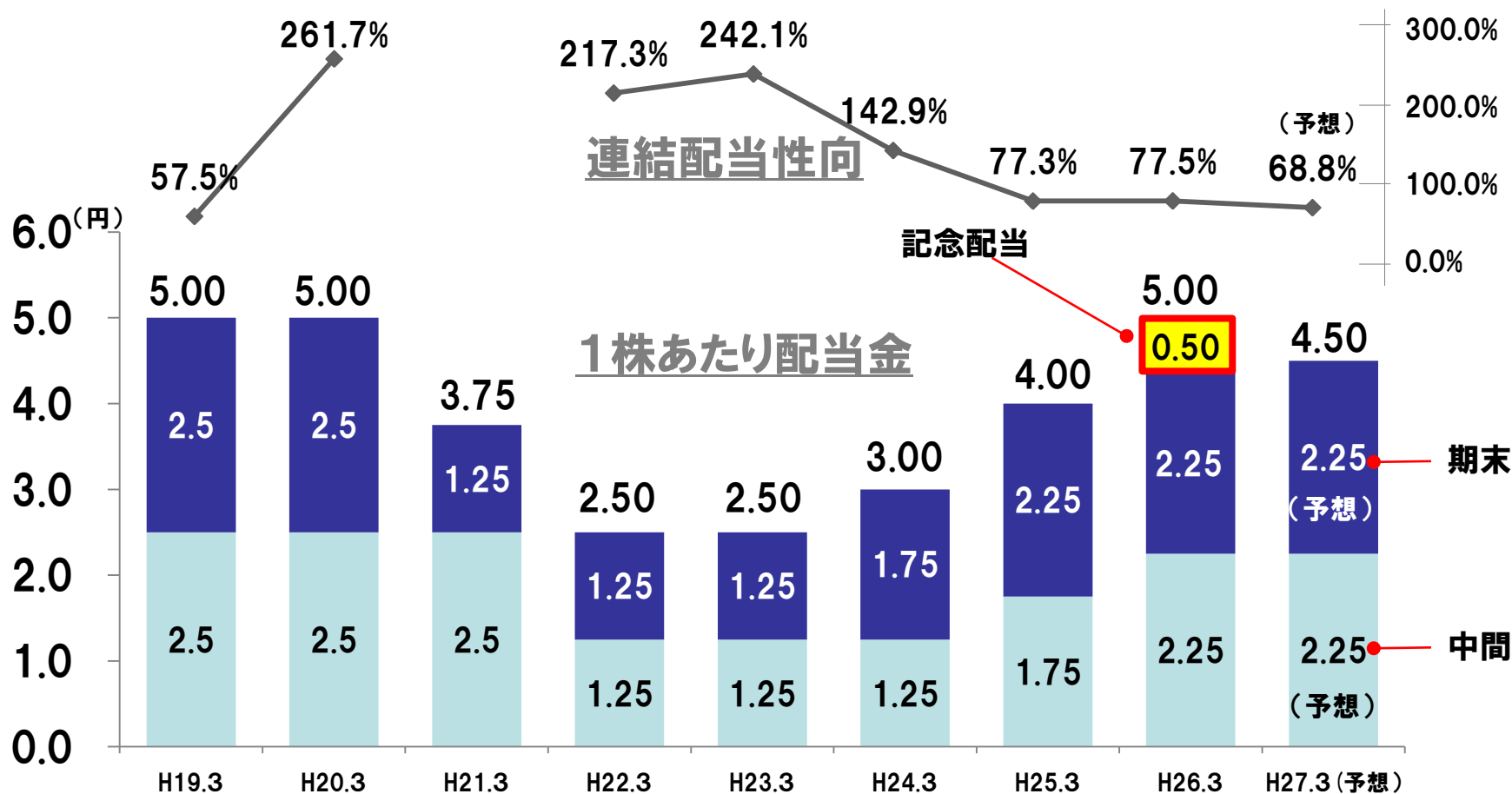
■ レンタル資産:2,461百万円(メディカルサービス事業) (平成25年3月期比△15百万円)

平成27年3月期通期計画

■ レンタル資産:2,650百万円(メディカルサービス事業) (前年同期比+188百万円)

配当について

1株あたり配当金と連結配当性向の推移



安定的な配当を継続

※平成21年3月期は連結当期純利益が▲16億15百万円でした。



II・平成27年3月期 通期の連結業績見通し

平成27年3月期 通期の連結業績見通し

(百万円)

	平成26年 3月期 〔実績〕 (H25.4~H26.3)	平成27年 3月期 〔計画値〕 (H26.4~H27.3)	前年比 増減額	前年比 増減率
売上高	54,891	55,000	108	0.1%
営業利益	2,799	2,700	△99	△3.5%
経常利益	2,784	2,700	△84	△3.0%
当期純利益	1,397	1,400	3	0.2%

	平成26年 3月期〔実績〕 (H25.4~H26.3)	平成27年 3月期〔計画値〕 (H26.4~H27.3)	前年比 増減額	前年比 増減率	
メディカルサービス事業	売上高	29,382	30,300	918	3.1%
	営業利益	2,082	2,200	118	5.6%
インテリア健康事業	売上高	21,672	21,000	△672	△3.1%
	営業利益	726	450	△276	△38.0%
その他	売上高	3,835	3,700	△135	△3.4%
	営業利益	△32	30	62	-
消去または全社	売上高	-	-	-	-
	営業利益	23	20	△3	△13.0%
合 計	売上高	54,891	55,000	109	0.1%
	営業利益	2,799	2,700	△99	△3.5%

対前年実績と平成27年3月期(上・下・通期)計画比較

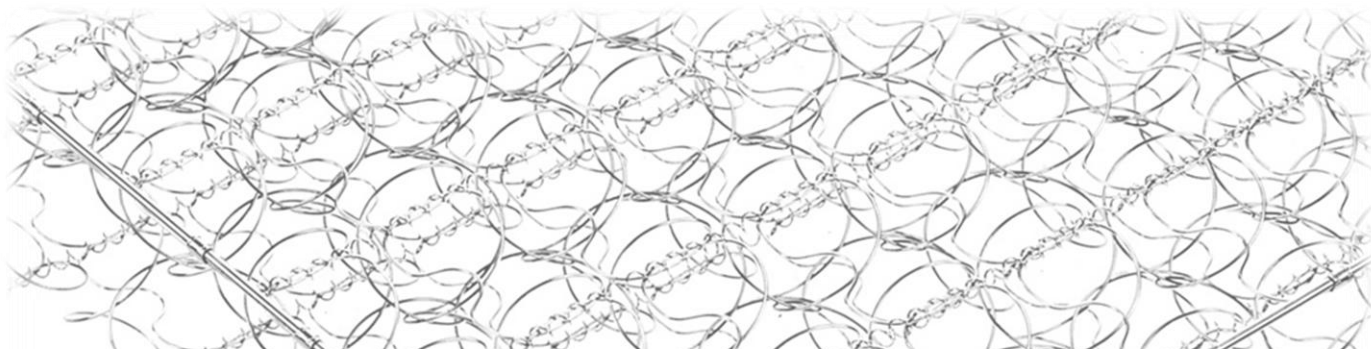
(百万円)

平成26年3月期	上期実績 (H25.4~H25.9)		下期実績 (H25.10~H26.3)		通期実績 (H25.4~H26.3)	
売上高	25,637		29,254		54,891	
営業利益	1,181		1,618		2,799	
経常利益	1,167		1,617		2,784	
当期純利益	626		771		1,397	
平成27年3月期	上期計画値 (H26.4~H26.9)		下期計画値 (H26.10~H27.3)		通期計画値 (H26.4~H27.3)	
売上高	26,500		28,500		55,000	
営業利益	1,300		1,400		2,700	
経常利益	1,200		1,500		2,700	
当期純利益	650		750		1,400	
前年比較	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	863	3.3%	△754	△2.5%	109	0.1%
営業利益	119	10.0%	△218	△13.4%	△99	△3.5%
経常利益	33	2.8%	△117	△7.2%	△84	△3.0%
当期純利益	24	3.8%	△21	△2.7%	3	0.2%

対前年実績と平成27年3月期 セグメント別(上・下・通期)計画比較

(百万円)

		平成27年3月期		
		上期計画値 (H26.4~H26.9)	下期計画値 (H26.10~H27.3)	通期計画値 (H26.4~H27.3)
メディカルサービス事業	売上高	14,300	16,000	30,300
	営業利益	1,030	1,170	2,200
インテリア健康事業	売上高	10,300	10,700	21,000
	営業利益	250	200	450
その他	売上高	1,900	1,800	3,700
	営業利益	10	20	30
消去または全社	売上高	0	0	0
	営業利益	10	10	20
合 計	売上高	26,500	28,500	55,000
	営業利益	1,300	1,400	2,700



メディカルサービス事業の業績見通し



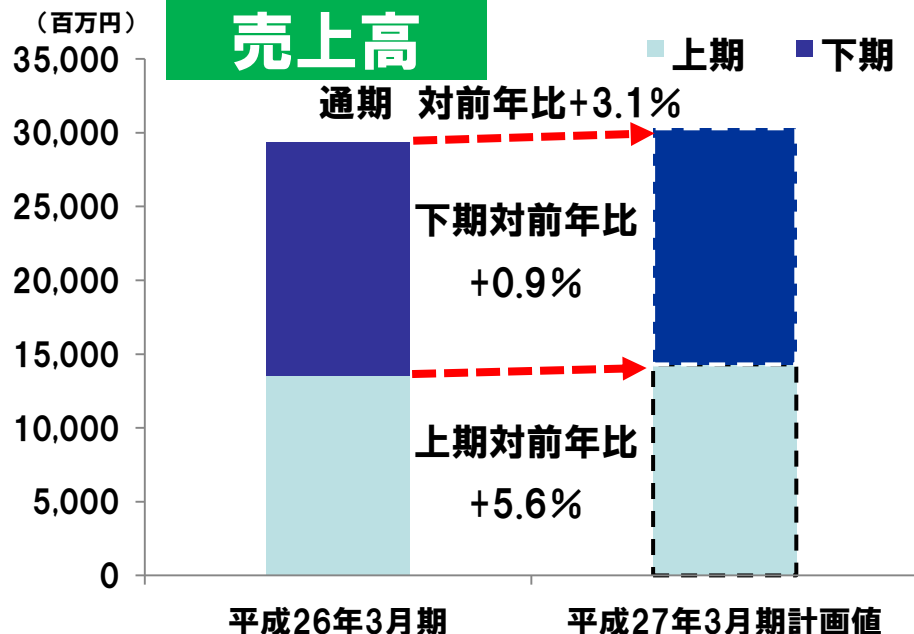
① 介護関連レンタルのシェアを拡大

- ・都市圏を中心とした営業拠点の増加
- ・他社にない新商品の投入
- ・将来顧客獲得のための一般レンタルの拡大

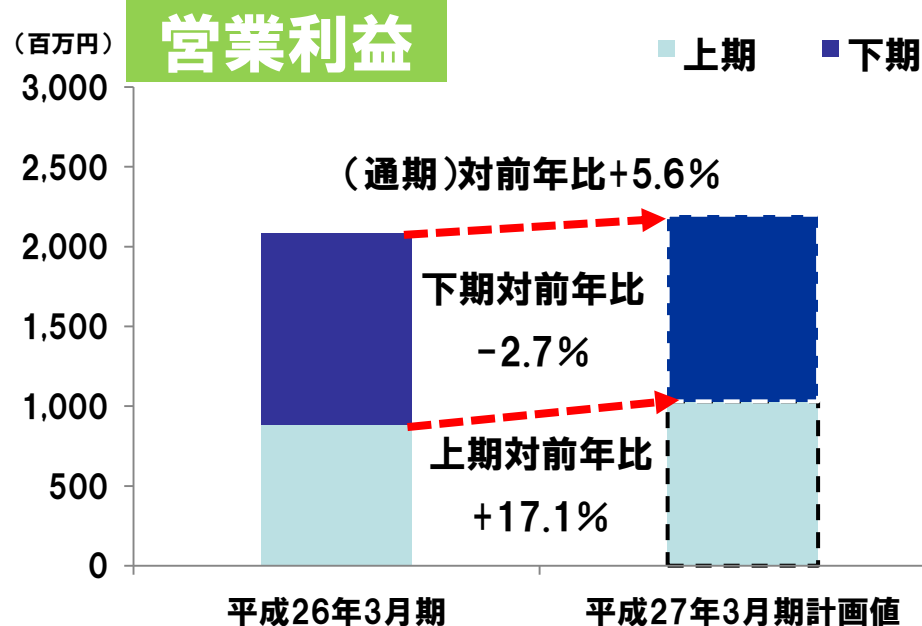
② 病院・施設向け物件取引を拡大

これまでにない新商品を開発し、提案型営業を重点的に実施

売上高



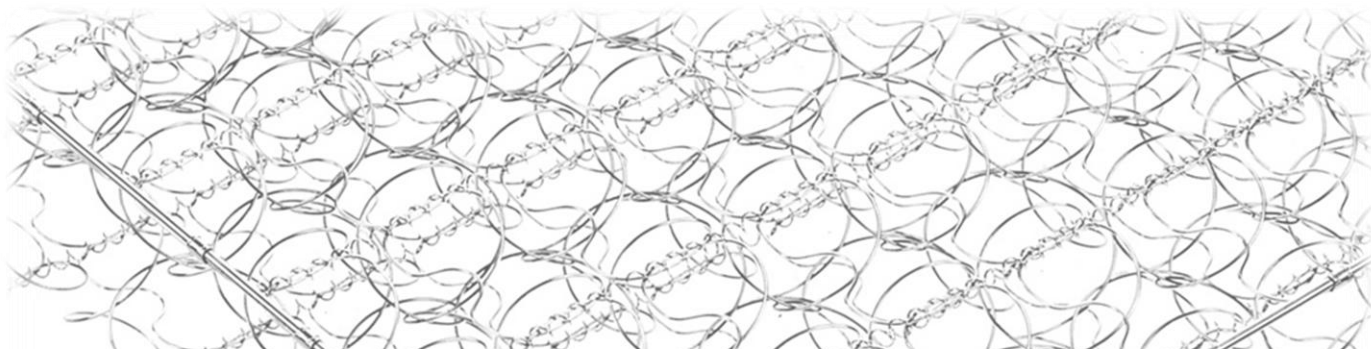
営業利益



平成27年3月期計画

売上高: 303億円 (対前年3.1%増)

営業利益: 22億円 (対前年5.6%増)



インテリア健康事業の業績見通し

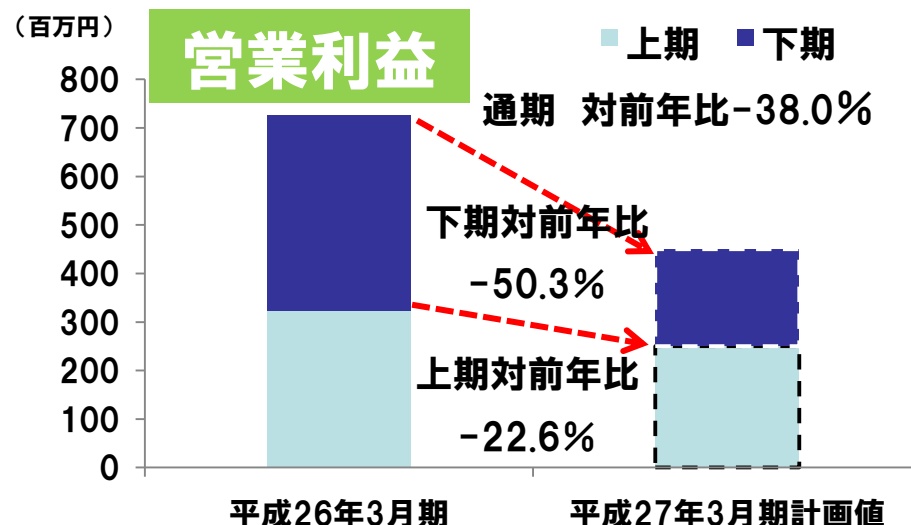
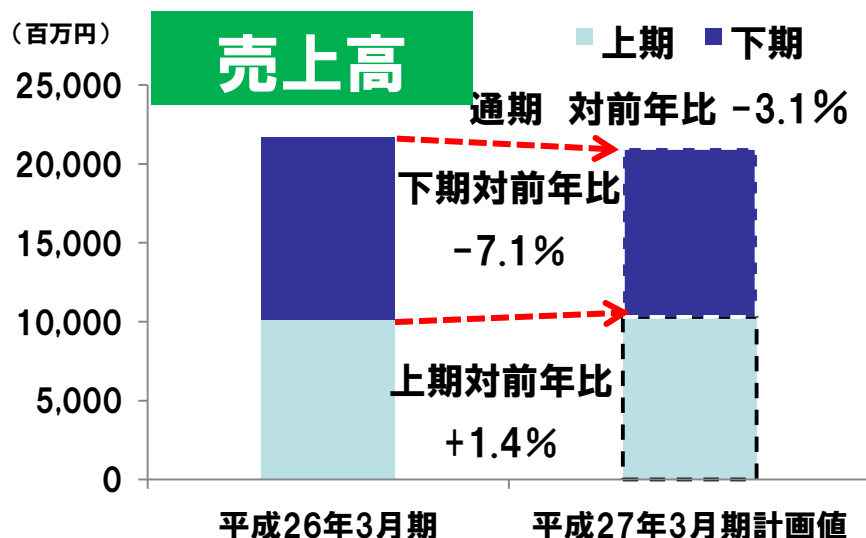


① 新たな需要の掘り起こしと収益力の向上

- ・今まで無かった商品の開発の市場投入を行い需要の掘り起こしを進める
- ・高機能高付加価値商品の投入により単価アップを図るとともに、機種種の絞込みを進め、収益力の向上を図る

② 高齢者向け商品(リハテックブランド商品)の売場拡大

- ・少子高齢化によって中期的には家具市場は縮小
⇒介護保険に依存しない高齢者向け商品の売り場を開拓する。(家具店・異業種)



平成27年3月期計画

売上高: 210億円 (対前年3.1%減)

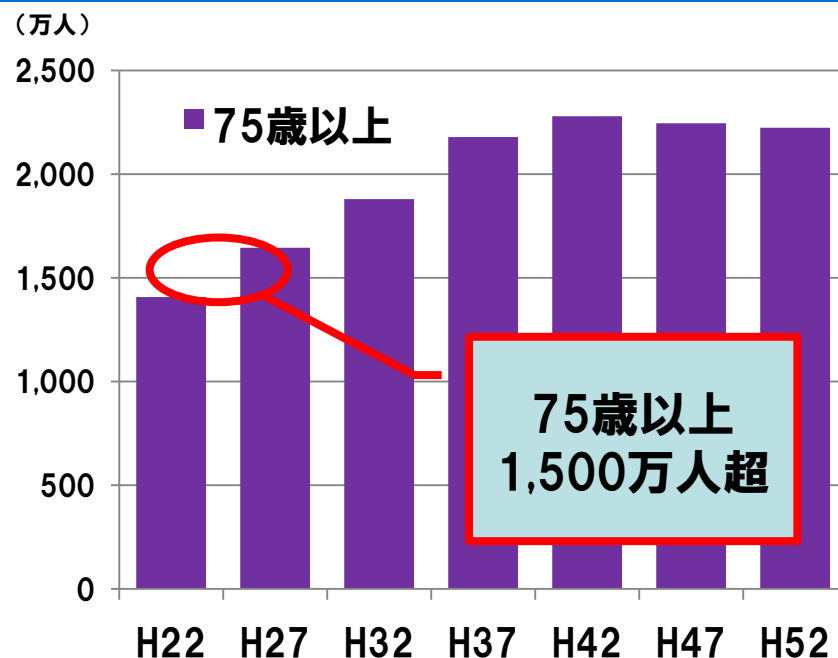
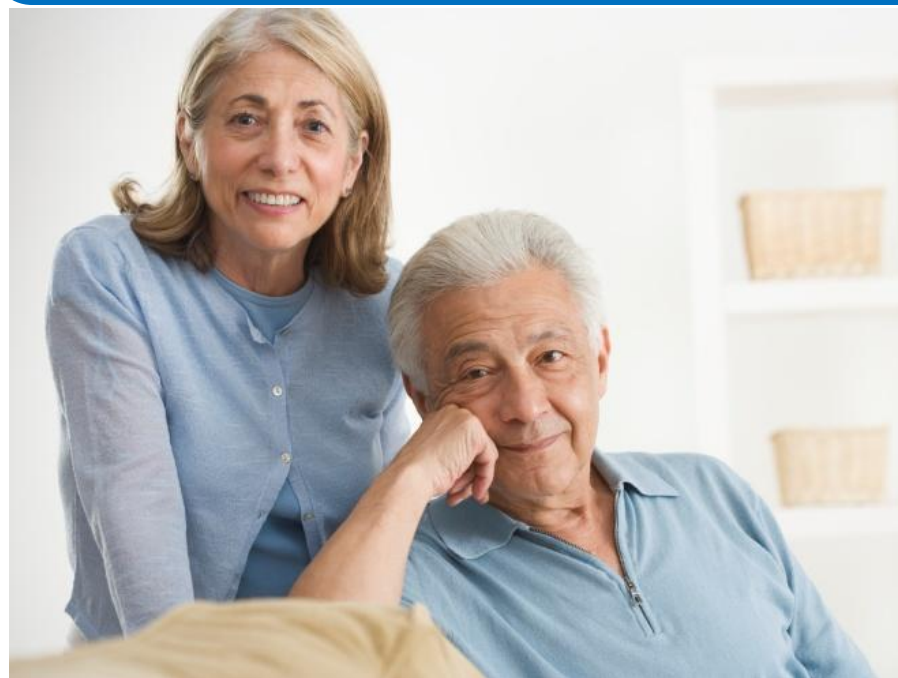
営業利益: 4億5千万円 (対前年38.0%減)

III・今後の主な取組みについて

拡大するシニアマーケットについて

シニアマーケットへの取組み

「75歳以上人口」(後期高齢者)は1,500万人超※
総人口に占める割合は約12%



アクティブシニア(特に75歳以上)をターゲット
シニアビジネスへの取り組みを更に強化

※総務省「人口推計月報」(平成22年4月)及び国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」を参照。

1)元気な高齢者への取り組み

- リハテック・ブランド商品を開発し、市場へ投入
- リハテック(コーナー&ショップ)の展開

2)半健常者への取り組み

- リハビリ分野への取り組み
- 増加する認知症患者への取り組み

1)元気な高齢者への取り組み

- リハテック・ブランド商品を開発し、市場へ投入
- リハテック(コーナー&ショップ)の展開

2)半健常者への取り組み

- リハビリ分野への取り組み
- 増加する認知症患者への取り組み

1)元気な高齢者への取り組み ～リハテックブランドについて～

リハテック **Reha tech**

アクティブシニアの健康を応援し、毎日をより活動的に楽しく快適に過ごすための商品やサービスを提供。

また、日常活動の向上を図る上で役立つ商品から、家庭や社会復帰へ向けた取り組みをサポートする商品まで、工夫された今までにない価値ある商品をお届け。



電動アシスト三輪自転車
<ASU-3W01>
2010.11発売開始



ハンドル型電動三輪車いす
<スマートバル>

電動車いす
<ちよいばる♪>



Reha tech
マットレス



おしゃれな花柄を採用した
シルバーカー<ラクティブ> &
自動抑制ブレーキ付歩行車
<スマートウォーカー>



リフトアップチェア

1) 元気な高齢者への取り組み ～リハテック(コーナー & ショップ)について～

アクティブシニア向けの新しい売り場

リハテック
Reha tech

リハテック商品の展示を中心とした「悠悠プラチナコーナー」を
「リハテック(コーナー & ショップ)」と名称を統一

リハテックブランドのコーナー & ショップ展開について

- ・販売店様店内に設けたリハテック・コーナー展開中 (現在17店舗)
- ・当社直営にてリハテック・ショップを展開

【リハテック・ショップの目的】

既存販路、異業種にリハテック・コーナーを推進する為の
モデル店舗を展開

- 路面店や商店街の当社拠点を活用
- 店舗面積 10坪～
- 坪単価売上目標10万円/月以上



1) 元気な高齢者への取り組み ～リハテック・ショップについて～

直営店舗例

リハテック
Reha tech

大阪で3店舗(大阪池田市・天六・枚方) リハテック・ショップ直営店舗 展開開始

写真はリハテック・ショップ大阪池田店



都内でも展開予定



平成27年3月期は本格的に リハテック・コーナーの増加と売上の拡大を図る

平成27年3月期上期目標: 17店舗→50店舗へ

1) 元気な高齢者への取り組み ～商品について～

“スマートパル”

新型・ハンドル型電動三輪車いす(S637)

リハテック
Reha tech
新発売

今までの電動車いすのイメージを覆す斬新なデザイン

- ◇ 自走で電動で走ることができる
全く新しいコンセプトの“電動三輪車いす”
- ◇ シンプルで軽快なデザイン。
- ◇ 歩道も走行が可能。

・ターゲット：
体力に自信の無い方で
手軽な移動手段を求めている人

・販売価格：288,000円(非課税)

介護
レンタル：月額**1,380円**(非課税)

一般
レンタル：月額**13,800円**



1)元気な高齢者への取り組み ～商品について～

新型電動アシスト三輪自転車 “ASU-3WT3”

リハテック
Reha tech
新発売

より多くの人に 乗りやすく・安定した走行性能を実現

- ◇ 「乗りやすさ」を極めたアシスト三輪自転車登場
- ◇ 新開発の“トリプルトーションバーシステム”を採用
により、安定した走行性とシャープなデザインを実現
- ◇ オートライトやリング錠などの装備も充実



・ターゲット：
買物やお出かけに
便利な乗り物を求める
アクティブシニアの皆様へ

・販売価格：(税込)225,000円



1) 元気な高齢者への取り組み ～商品について～

光る杖

“Light Cane(ライトケイン)”

リハテック
Reha tech

大好評発売中

簡単操作で安全を守る。お洒落で機能的な“光る杖”

- ◇ 屋内外で、暗く見通しの悪い環境に効果を発揮
- ◇ 光で周囲に存在を知らせて安心
- ◇ デザインバリエーション豊富な10種類
- ◇ 充電式なので電池交換が不要

・ターゲット：
歩くことを“楽しむ”
アクティブシニアの皆様へ。

販売価格：(税込)13,824円～



安心だから、
もっとおでかけ
したくなる。

外出先で道が暗くなり、
不安を感じたことはありませんか。
この(光る杖)ならワンタッチで
杖の先のライトが点灯。
車やまわりに存在を知らせ、
しかも足元を明るく照らします。
日が暮れても安心だから、
きっともっと、おでかけしたくなります。

Light Cane
光る杖
ライトケイン

1) 元気な高齢者への取り組み ～商品について～

“電動リクライニングベッドシリーズ”と “腹部圧迫軽減スライドマットレス”

アクティブシニアに電動リクライニングベッドの快適性を訴求

◇ 寝室で読書やテレビを楽しめ、更に
5年後、10年後の将来を見据えたベッド



従来のリクライニング用マットレス
背上げ時に腹部が圧迫されやすい。

電動ベッド用 腹部圧迫軽減スライドマットレス
マットレスがスライドして腹部の圧迫を軽減。

1) 元気な高齢者への取り組み ～商品について～

「立つ・座る」をサポート
電動立ち上がり補助機能付き
“新座いす型リフトアップチェア800”

リハテック
Reha tech

大好評発売中

腰やひざに負担をかけずに、これ一台で立ち上がれます。

◇座面が上昇するだけでなく
立ち上がりやすい姿勢をサポート



・販売価格：(税込) 226,800円 **介護** レンタル：月額822円(税込) **一般** レンタル：月額8,220円

1) 元気な高齢者への取り組み ～商品について～

フローリングや畳で使える、CMでおなじみの 電動リクライニングマットレス ルーパームーブ RP-1000

置き場所を選ばない、敷き布団に変わる
新しいモーター内蔵リクライニングマットレス



買い替えに

お使いのベッドが
リクライニングベッドに早変わり!

和室に

和室でも気軽にリラックス

リビングに

ソファ感覚で
テレビを見たり本を読んだり

大好評発売中

<NEWS>

平成26年3月期は、消費増税前の駆け込み需要へ対応するため、家具販売店へ供給することに追われたが、今後は同機能で福祉用具のレンタル対象商品「RP-01」も本格的に展開開始。

1) 元気な高齢者への取り組み ～商品について～

布団での就寝に慣れている方に。 起き上がり補助装置 ルーパームーブ RP-01

布団からの起き上がりに苦勞してる方に・・・



介護保険適用となりました。

<NEWS>

体位変換が行える起き上がり補助装置として、家具販売店向けRP-1000の機能に在宅介護に必要なエッセンスを加え、レンタル・販売モデルとして開発。
在宅・施設向けにレンタル展開を本格的に開始。

・販売価格：170,640円(税込)

介護
レンタル
: 月額**514円**(税込)

一般
レンタル
: 月額**5,140円**



1)元気な高齢者への取り組み

- リハテックブランド商品を開発し、市場へ投入
- リハテックショップ(コーナー)の展開

2)半健常者への取り組み

- リハビリ分野への取り組み
- 増加する認知症患者への取り組み

2)半健常者への取り組み ～リハビリ分野への取り組み～

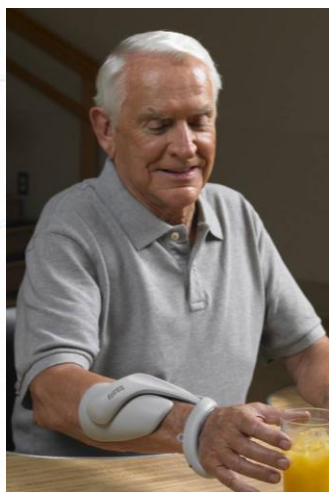
・ リハビリ分野への取り組み

リハビリテーションに新たな可能性

バイオネス



NESS H200®



NESS® L300™



全国の脳血管疾患：123万人※1

全国の回復期リハビリテーション病棟数 約1,500病棟※2

・レンタルならびに販売中

※1.厚生労働省「平成23年患者調査の概況(4.主な傷病の総患者数)」

※2.全国回復期リハビリテーション病棟協会(平成25年9月30日資料)

2)半健常者への取り組み ～リハビリ分野への取り組み～

・ リハビリ分野への取り組み

Coming Soon !

**さらに、脳疾患・パーキンソン病の方に向けた
リハビリテーション用補装具も展開予定**

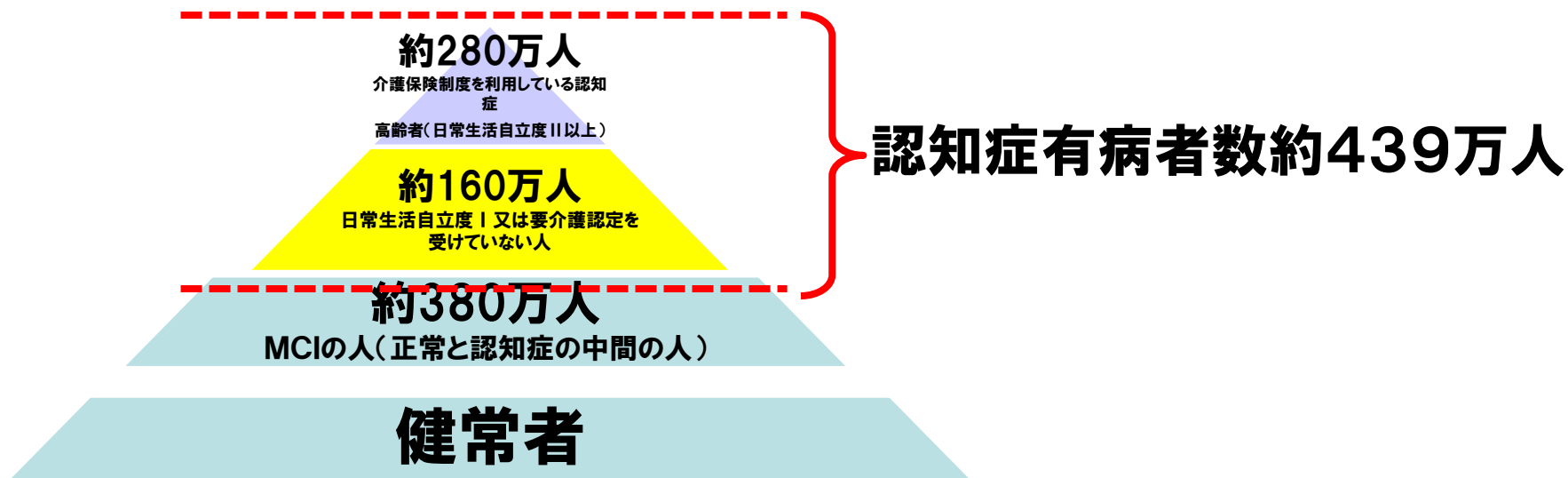
2)半健常者への取り組み ～認知症患者への取り組み～

・ 増加する認知症患者への取り組み

認知症高齢者の現状(平成22年)

全国の65歳以上の高齢者(約3,000万人)のうち

- 認知症有病率推定値15%
- 認知症有病者数約439万人と推計
- また、全国の正常でもない、認知症でもない(正常と認知症の間※)状態の者の有病率推定値13%(※以下MCIと称す)、MCI有病者数約380万人と推計
- 介護保険制度を利用している認知症高齢者は約280万人



※厚生労働省「説明資料 当面の認知症施策の取り組みについて」(平成25年6月25日)引用

2)半健常者への取り組み ～認知症患者への取り組み～

増加する認知症患者への取り組み

自動ブレーキ付き車いす “セーフティレンジ”

リハテック
Reha tech
好評発売中

車いすから立ち上がると自動でブレーキがかかります。

ブレーキのかけ忘れをサポート

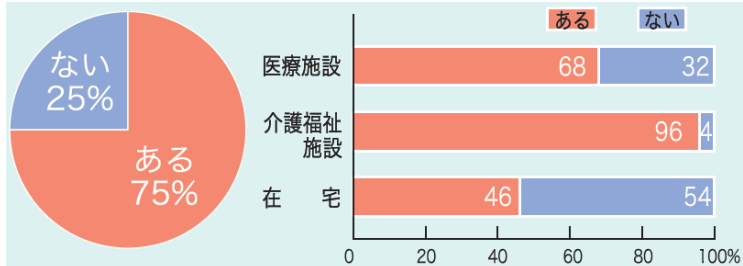
- ・高齢者の車いすでの転倒を未然に防止
- ・産官学共同研究開発商品

自動でブレーキがかかる

おしりを上げると…



車いすのブレーキのかけ忘れはこんなに多い！



「手動車いすのブレーキのかけ忘れに関する実態調査」より

・販売価格：128,000円(非課税) **介護レンタル**：月額600円(非課税) **一般レンタル**：月額6,000円

2)半健常者への取り組み ～認知症患者への取り組み～

・ 増加する認知症患者への取り組み

リハテック
Reha tech

在宅・施設・病院向け **超々低床フロアーベッド**

ベッドから落ちても安全な介護ベッドができました

・就寝時は低くしてベッドから落ちても安心



・ベッドを高くして介護時の負担軽減



<NEWS>

平成26年3月期は、消費増税前の駆け込み需要へ対応するため、在宅・施設・病院へ供給することに追われたが、今後は家具販売店モデルも追加し、本格的に開始。

2)半健常者への取り組み ～認知症患者への取り組み～

- 増加する認知症患者への取り組み

リハテック
Reha tech

家具販売店ルート向け **超々低床フロアーベッド**

家具販売店でも取り扱える

他に無い高機能高付加価値商品の登場

<NEWS>

ヘッドボードとフットボードを木目調にすることにより、インテリア性を高め、付加価値のある電動リクライニングベッドとして家具販売店へ展開予定。

近日発売予定





質疑応答

（問合せ先）

総務室長 原田正裕 Email: ir@francebed-hd.co.jp

広報課長 黒須和伸 同上

（将来見通しに関する注意事項）

本日のプレゼンテーションの中には、弊社の予想、確信、期待、意向および戦略など、将来の予測に関する内容が含まれています。これらは、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化による変動可能性など様々な要因によって、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なってしまう可能性があります。弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、改訂する義務を負うものではありません。

上記の不確実性および変動の要因としては、以下に挙げる内容を含んでいます。

また、要因はこれらに限定されるわけではありません。

- 主要市場における経済情勢および需要・市況の変動
- 主要市場における政治情勢や貿易規制等各種規制
- 為替相場の変動
- 競争企業の製品・サービス、価格政策、アライアンス、M & Aなどの事業展開
- 弊社の提携関係に関する提携パートナーの戦略変化
- 原価低減や設備投資を計画通り実施する弊社の能力
- 新製品を開発し市場へ投入する弊社の能力